

留学生と保護者の皆さんへ

交換留学への参加は、留学生、保護者の双方にとって冒険です。どんなに異文化交流を待ち望み、準備していたとしても、留学生も保護者も適応し順応するために、ある一定の期間を超えなければなりません。初めて留学先の国へ到着した時には、多くの留学生がカルチャーショックに苦しみます。彼等は、様々な事柄を非現実的に期待しているかもしれません。その為 CHI では、皆さんがカルチャーショックを克服する為の方策を設けています。

留学生は順応してゆく過程で、幾分かの寂しさや孤独感、又はホームシックや憂鬱を感じることでしょう。これらは全て、典型的な順応周期の一部である感情です。同時に保護者も、お子様がこれらの感情を克服する為に手助けできない無力さを感じることでしょう。しかし、CHI がお子様の順応周期を通して助けてゆきますので、心配しないで下さい。また、保護者は、下記の項目に従うことについてお子様と話し合い、同意することにより、お子様と CHI にとって大きな助けとなることをご理解下さい。

1. 国際電話とEメール

CHI は、留学生とその両親がお互いに連絡し合いたいと願っていることを理解しています。しかし、必要以上の連絡は、順応の妨げとなります。到着して最初の 1 週間は少なくとも 1、2 回お子様とコミュニケーションを図りたいと思われることでしょう。CHI はこの最初の 1 週間に関してはこのやり取りを承認しますが、2 週目以降は保護者と留学生のコミュニケーションは月に 2 回までに制限して下さい。今日ではコミュニケーションは容易に取ることが出来るため、コミュニケーションを控えることは難しいと思いますが、私達は何十年ものホームステイ経験より、お子様が順応するためには、完全にホストファミリーに溶け込み、そして親密な絆を築く必要があることを熟知しています。また、留学生に連絡したいと願うお子様の友達や他の親類の方ともこの事柄について話し合い、電話やEメールを上に言及した回数に制限して頂くようお願いして下さい。お子様が度重なる携帯電話やEメールによるコミュニケーションが原因で順応を妨げられていると感じることがあれば、私達はホームステイプログラムに確実に順応できるようこれらのコミュニケーション手段を制限することもあります。

2. 訪問

両親、兄弟姉妹、親戚、友人は、交換留学中に留学生を訪問することは許可されません。CHI は、自国からの訪問は、留学生の順応の過程を多分に妨げるものであることを承知しています。もし家族が北米を訪れることを望むなら、プログラム終了時に訪れるようにし、留学生が帰国前にプログラムから離脱する同意書に署名して下さい。訪問者はホストファミリー宅に滞在するのではなく、現地のホテル等の宿泊施設を利用して下さい。また、留学生はプログラム期間中に一時帰国することは許可されません。訪問者が許可されるのは、緊急の場合のみです。(例：留学生の入院など)

3. カウンセリング

保護者は、お子様が悩んでいた、感情的になっている状態での電話やEメールを受け取ることもあるでしょう。そのような場合は、ホストファミリーやアカデミック・コーディネーター、又は地域統括責任者に相談するよう助言して下さい。CHI では、留学生の順応過程を支援するカウンセリング・サポートを提供するため、スタッフを教育しています。ホストファミリーや学校、コーディネーターに直接電話せずに、自国の仲介機関に連絡を取るようお願いします。

4. 異文化への浸透

CHI の交換留学プログラムは、留学生に留学先の国の文化と言語に完全に浸る機会を与えるよう作られています。留学生が自国からの人、又は同じ言語を話す人と会ったり話したりしたいと願うのは自然な傾向ですが、保護者は、心を開いて友好的な態度で異文化体験に集中するようにお子様を励まして下さい。参加、対話、学ぶ熱意、そして笑顔が、成功をもたらすのです。

留学エージェントから上記の同意事項の説明を受けました。我々は、留学生活に適応するための上記の事項について熟読し、十分に理解し、それらに従うことに同意します。